

「希少野生動植物種保護支援員第2期応用編研修会」

日時：平成20年3月16日（日） 9：30～15：00

場所：山口県立江汐公園（山陽小野田市高畑）

参加者：22人

1 スケジュール

9：30～ 9：40	あいさつ
9：40～11：00	講義 ・自然観察の方法 ・身近な自然の観察 ・支援員の役割について
10：00～11：40	自然保護活動団体の体験報告 『ナベヅルの保護活動について』
11：40～12：00	植物観察について
12：00～13：00	昼食
13：00～15：00	植物観察
15：00	閉会

2 活動内容

① 講義

応用編テキストを使用した講義。

山口博物館 田中学芸課主任から、地形図の活用について説明を受けました。地形図により、ため池などの位置がわかること。また、その図に歩いた道をトレースして記録をとること（いつ・どこで・なにを見た等も必ず記録する）。

次に、身の回りの自然に目を向けることについての講義。その意義は、近くに観察フィールドをもつことで、日常的に四季の変化を見ることが出来るからです。田中先生が自ら観察した「虫こぶ観察」「レンゲのからだの構造と虫の関係」「クサギと昆虫の関係」や裏山に棲むアナグマなどの野生動物の生態記録をつけたものを参考に、記録のとり方の解説がありました。

最後に、記録をとり、整理をしたら発表をして欲しいことを受講者に伝えられました。

山口大学 山岡名誉教授からは、実際に自宅近くのフィールドであるため池とその周辺での観察記録の紹介がありました。1年目は、主にブラックバスの1年間の様子と捕食関係のある生き物との生物暦を作成し、ブラックバスの生態を調査されました。その後、池だけでなくその周辺にやってくる生き物などの観察記録も同時にとられました。そこには、バッタやクモの仲間などさまざまな生き物がいることがわかり興味が広がっていくことを紹介されました。

② 支援員の役割について

山口県自然保護課 林主任からは、「支援員の役割について、街の中にも自然はあるので、ふれあうこと。関心や楽しみを生み出し、保護について考えてほしいこと。山口県自然保護課では、支援員の方々に県内で行われる自然保護活動団体の情報提供をしていくので、参加してみてください」と等の説明がありました。

③ 自然保護活動団体の体験報告

『ナベヅルの保護活動について』の体験報告では、八代のツルを愛する会の上田副会長が、八代でのツルの様子や保護活動の様子を、映像を交えて伝えられました。

④ 植物観察

高田先生から、植物の観察では、五感を使うことや視点を広げてみることを教わりました。植物の名前を知ることは重要であるが、それだけではなく他の動植物との関わり（日当たりなどお互いに影響を与えあっている等）を知ることも大切です。

受講者は、桜、笹、イチヨウそれぞれの葉の輪郭が描かれたプリントに、記憶をたどりながら葉脈を記入し、観察会終了後、正しい葉脈の形の説明がありました。先生からは、実際に本物を自分の目でみて、もう一度確認するよう指示がありました。また、葉の必要条件（役割）はなにか、葉の付き方等について、講義をうけ、実際に野外に出て、植物の特徴を習いルーペを使って葉や茎等の観察を行いました。

【講義】



記録の取り方・整理の方法を学ぶ。

記録は「いつ・どこで・何を・どうした」は必ず記入する。成果は発表すること。



【ナベヅルの保護活動について】



毎年、ねぐらの整備をしていること。地元の子供達もツルに関わっていること。

【植物観察】



じっくり観察。葉の付き方や花の形などより深く植物を観察すること。(ルーペ等を使うことも必要) 五感を使う・・・記憶に残る。匂い、味、手触り等

(観察会)

トチの木、クスの木、クヌギ、ヤブコウジ、クロキ、カクレミノ、コナラ、アカマツ、ノグ
ルミ、コバノミツバツツジ、タンポポ、ヒメオドリコ草、ハコベ、オニタビラコ、ヒノキバヤ
ドリギ等を観察する。



ヤマコウバシは落葉樹でも、新しい葉が出るま
で落ちない。

落葉樹の葉は離層で切り離される。ホルモンとの関係があり、細胞をとかすことにより、葉を落とす。落葉樹でも、葉が落ちにくいものもある。

「クロキ」は、芽生えの頃は葉のギザギザが強い。原生林にはない。

「コバノミツバツツジ」は、ピンク色の花を咲かせる。もともとこの地にあったものと思われる。酸性土壌を好むものなので、秋吉台にはほとんどない。代わりに南天がある。

「ハコベ」は、めしべの先端は3つに分かれていて、花は5枚である。雄しべは、個体により数が違うことを、ルーペを使い全員が確認する。

ツバキに寄生している「ヒノキバヤドリギ」。寄生するものには、葉緑体を持っているもの（光合成が出来るもの）と持っていないものがある。また寄生している植物から、水だけもらっているもの、水と養分をもらっているものがある。

